



学校だより

はと広場

9月号

令和元年8月27日
さいたま市立北浦和小学校
TEL 048-831-2463

何度でも チャレンジ

校長 益子 聡

◆ カーネルおじさんの びっくり人生

お店の前に立っていて誰もが知っているカーネルおじさん。モデルとなったカーネル・サンダースさんは、アメリカ生まれのあのフライドチキンの味を世界中に広めた人物です。しかし、彼の波乱に満ちた人生は、あまり知られていません。

彼は1890年9月9日、アメリカ・インディアナ州で生まれました。

6歳の時に父を亡くし、母親の代わりに食事の支度や洗濯、弟や妹の面倒をよく見ていました。

7歳の時、弟たちのために焼いたパンが、お母さんやお母さんの働く工場の人たちに〈おいしい!〉と大評判。この時に大喜びされた感動が〈美味しいものを人に食べさせたい〉という、生涯の原点になりました。

家計を助けるために10歳で学校をやめ、農場に働きに出ました。

その後は、機関車の機関士、保険やタイヤのセールス、ガソリンスタンド経営など、40ほどの職業を転々としてきました。しかし、大事故、火事、人に騙されるなど、どれも失敗続きで、何度も財産を失いました。

40歳の時にケンタッキー州でガソリンスタンドの経営をはじめ、来る人にもっと喜んでもらえるようにと、その一角で小さなレストランを始めました。ここで一番人気だったのがあのフライドチキン。近く的高速道路を利用するトラックドライバーを中心に大盛況となり、やがて大型レストランに成長。後に彼の偉大な事業に発展する種となりました。

軌道に乗っていたレストランも、高速道路の出入り口が変更となったとたん客が激減。自分の力ではどうにもならない理由で倒産し、無一文になってしまいました。この時65歳。人生最大のピンチに立たされますが〈私はあきらめない〉と言って、残された古い車に圧力鍋とスパイスを積み、車に寝泊まりしながら旅に出ました。

アメリカ中のレストランを訪ねては〈この店のフライドチキンは美味しくないね。もっと美味しく作れる調理方法があるよ。売り上げの一部を払ってくれたら秘密のレシピを教えるよ〉と言って、契約を取り付けました。これが、飲食業としては世界初のフランチャイズビジネス、現在の『ケンタッキーフライドチキン (KFC)』として大成功しました。

彼のレシピ通りに作ったフライドチキンはたいへんおいしいと評判になり、米国最大のフランチャイズレストランとなりました。

1980年、彼は90歳でこの世を去りましたが、その時にはKFCのチェーン店は48か国、6,000店に広がっていました。

◆ 自分で限界を作らない

自分にどれほどの潜在的な能力があるのか、自分はどこまで伸びていけるのか。そのことを自覚している人はいないと思います。

知識でも技術でも、それを身につけようと真剣に努力すれば、階段を一步一步上がるように自分を高めていくことができます。年齢に関わりなく、無限に成長し続けることができます。その成長の過程では、迷うこともあるかもしれませんが、右か左か進む道を決めかね、失敗を恐れて後ずさりしたくなることもあるかもしれません。しかし、人生に失敗はつきものですし、失敗から学ぶことは数多くあります。

カーネルおじさんも、多くの困難や失敗に見舞われてきましたが〈私はあきらめない〉と言い続け、そこから立ち直ることができたのです。ライオン・キングの〈ハクナ・マタタ (どうにかなるさ、くよくよするな、問題ない)〉 —。そのくらいの感覚で日々チャレンジし続けることが、夢の実現、成功への近道につながっていくのです。

2学期がスタートしました。新学期に新たな目標を作って頑張る子どもたちも、困難にぶつかることが多いと思います。その時、思い通りにならない、うまくいかないということを正面から受け止めつつ、自分の限界を自分で決めずに“ハクナ・マタタ”の精神で何度でもチャレンジしてほしいです。“いつか必ずうまくいく”と信じて……。